

第8回器具・容器包装専門調査会生殖発生毒性等に関するワーキンググループ議事概要

○第8回器具・容器包装専門調査会生殖発生毒性等に関するワーキンググループ

日時：平成22年2月15日（月）13：30～15：15

場所：食品安全委員会 大会議室

議事概要：

（1）ビスフェノールA

・ビスフェノールAの評価に関する各国の動向について、事務局から説明が行われた。当ワーキンググループとしては、これまでに得られている知見から、現時点における評価書（案）を取りまとめて、中間的な評価という位置づけも視野に公表していくこととなった。

・ビスフェノールAの評価書（案）について、事務局から説明が行われ、次回ワーキンググループまでに記載内容を精査し、修正、追記等を行った上で再度審議することとなった。

*ビスフェノールAはプラスチックのポリカーボネートや食品缶詰の防蝕塗装剤のエポキシ樹脂の原料として用いられています。これらの樹脂にはビスフェノールAが微量に残留していることから、食品衛生法では、ポリカーボネート製容器等からの溶出規格を2.5ppm以下と設定しています。しかし、近年、動物の胎児や子供に対し、極めて低用量の曝露による神経や性周期などへの影響（内分泌かく乱）を示唆する知見が報告されており、現在、欧米諸国で再評価が行われているところです。